



No.027 リブラは通貨？ そもそもおカネって何だろう



貨幣には価値の尺度となり、価値を交換し、価値を保存する機能があります。昔は貝殻だったり、石だったりしたこともありましたが、持ち運びに便利で分割でき等質で保存できる、金や銀のような金属が、貨幣として広く使われました。

単なる紙切れでも一定の金との交換を政府(中央銀行)が保証すれば紙幣として流通します。今は兌換性はなくなりましたが、それでも通用するのは、法的な強制通用力だけでなく、発行量を調整するなど国の管理通貨制度によって価値を維持できると国民が信用しているからです。ハイパーインフレで紙幣が紙切れ同然になってしまえば国の信用は失われ、ベネズエラのように実質的には通用しません。要するに通貨であるかどうかは、制度がどうあれ、みんなが信用してそれを使うかどうかにかかっているのです。

暗号資産も皆が安心できなければ誰も使わないというだけのことです。リブラはブロックチェーンの技術を使い、複数通貨バスケットを裏付けとして発行される金融商品の一種で、ビットコインと違って価格は安定すると言われています。アメリカではすでにドルにペッグしたステーブルコインが存在しますが、まだ広く利用されるには至っていません。

犯罪への悪用が心配されていますが、その点紙幣はどうかといえば、匿名性が高いのでもっと犯罪に使われやすい、それに強盗に襲われるとか、数えるのが面倒とか、こういった安全性や利便性を比較して、ユーザーが通貨として使いやすいものを選ぶわけです。

私は、国と民間との間でユーザーの信頼獲得競争があってもおかしくないと思います。